

事業コード	01050279		政策コード	01	政策名	産業経済基盤の再構築				
事業名	環日本海クルーズ推進事業		施策コード	05	施策名	人・モノの交流促進によるビジネスの拡大				
部局名	建設部	課室名	港湾空港課		指標コード	02	施策目標(指標)名	国内外からの観光・ビジネス客の誘客推進		
班名	調整・空港班		(tel)	2542		担当課長名	三浦良則		担当者名	今野速太

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 平成25年度 ~ 平成37年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)  
 近年の対岸諸国の経済発展によりクルーズ客船による外国人旅行者数が増加しており、日本海側港湾が連携して、環日本海クルーズの魅力情報を発信し、地域振興を実現することで、施策目標の達成に向けた大きな効果が期待される。  
 平成23年に外航クルーズ機能で日本海側拠点港に選定された小樽港・伏木富山港・金沢港・舞鶴港・境港では、クルーズの誘致に当たり連携を図る港として、秋田県内の港を位置づけている。外航クルーズは朝入港し、背後地を観光後、夜に出港し、次の港へ移動する周遊型であり、広域的に複数の港が連携した誘致活動を行うことが極めて有効となる。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)  
 日本海側に位置する港湾が連携して、環日本海クルーズの魅力情報を発信し、港湾に必要な受け入れ体制を整備することにより、クルーズ船の寄港を促進する。これにより、県内の地域振興・経済活性化を図る。  
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

2. 住民ニーズの状況  
 ニーズを把握した対象  
 受益者 一般県民 (時期: H25年 05月)  
 ニーズの把握の方法  
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット  
 その他の手法 (具体的に 環日本海クルーズ推進協議会への参加状況)

4. 目的達成のための方法  
 事業の実施主体 県、環日本海クルーズ推進協議会  
 事業の対象者・団体 船社、旅行代理店等  
 達成のための手段  
 小樽港・伏木富山港・舞鶴港で設立した環日本海クルーズ推進協議会に参加し、広域的な連携のもと、港湾施設の状況や地域の魅力を発信するウェブサイトを設置、船社・旅行代理店への説明会を共同で開催するほか、大型のクルーズ船寄港に必要な受け入れ体制を整え、積極的なクルーズ船の誘致活動を行う。

近年のアジアにおけるクルーズ需要の増大を背景に、外航クルーズ船の寄港数は大幅な増加が見込まれており、今後の地域振興・経済の活性化の核として、クルーズは大きな期待が寄せられている。このため、外航クルーズ船の寄港が可能な港湾を有する県内の市も環日本海クルーズ推進協議会へ加入し、クルーズ船誘致の広域的な取り組みに参加している。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性  
 外航クルーズ船の日本海側港湾への寄港は少なく、クルーズに関わる船社や旅行代理店に日本海側の魅力が十分に伝わっているとは言えない。また、周遊型であることから、単独で誘致活動するよりも、日本海側の地方自治体が連携して地域の魅力を発信することが、有効な手段である。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由

今後の方針

5. 事業の全体計画及び財源		単位(千円)							
順位	事業内訳	左の説明	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	全体(最終)計画
01	環日本海クルーズ推進事業	クルーズ船の誘致に必要なソフト事業	11	2	2	2	2	2	22
02	環日本海クルーズ施設整備事業	クルーズ船の誘致に必要なハード事業	8	113	0	0	0	0	98
財源内訳		左の説明	19	115	2	2	2	2	120
国庫補助金									
県の債			6	85					
その他の									
一般財源			13	30	2	2	2	2	120

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 クルーズ船の寄港による交流人口及び観光消費の増大により、県内観光産業の振興による経済の活性化が期待される。

指標	指標名	クルーズ船の寄港回数							指標の種類
	指標式	各年度の寄港回数							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a			5	6	7	8	9	17
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	日本海側拠点港計画書（連携港の計画を参考）							

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 04月 翌々年度 月

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a								
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由  
 \_\_\_\_\_  
 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)  
 \_\_\_\_\_

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 総合戦略産業としての観光の推進を図るうえで、世界的に利用者が増加し、今後も増加が見込まれるクルーズ船利用者を効果的、効率的に本県に取り込むため、日本海側の港が連携して誘致活動を行う必要がある。また、大型化するクルーズ船のより安全な寄港のための港湾施設の整備が必要である。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 環日本海クルーズ推進協議会への県内関係市の参加もことから、港湾管理者である県と市が一体となって、誘致活動を行う必要がある。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの  
 クルーズ船の寄港において、港湾を管理する県の関与が必要となる。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業      その他